

業態別の住宅ローン新規貸出額及び貸出残高に関する調査結果 (2021年度分)

独立行政法人住宅金融支援機構（本店：東京都文京区後楽1-4-10、理事長：毛利 信二）が実施した業態別の住宅ローン新規貸出額及び貸出残高に関する調査の結果（2021年度分）についてお知らせします。

本調査は、住宅ローン市場の規模を把握するため、当機構（旧住宅金融公庫）が1989年度から日本銀行統計に加え、各業界団体等の協力を得て、取りまとめている業態別の住宅ローン新規貸出額（フロー）及び貸出残高（ストック）に関する調査です。

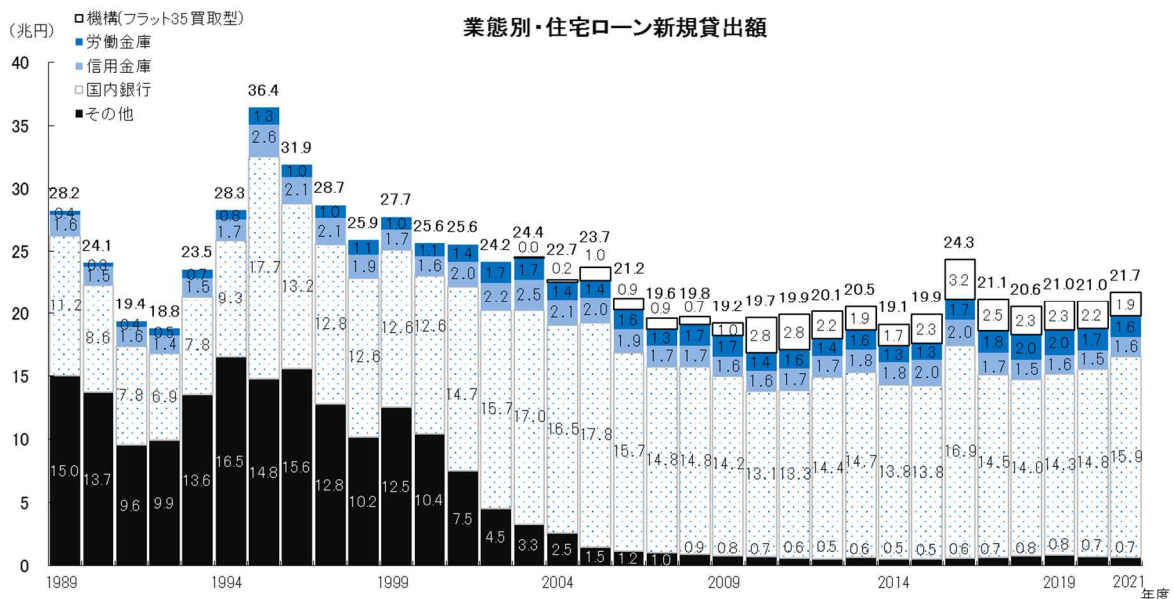
本調査結果の詳細及び四半期ごとの集計結果は、機構ホームページをご覧ください。
(https://www.jhf.go.jp/about/research/loan_zandaka.html)

調査結果の主なポイント

<住宅ローン新規貸出額>

○ 2021年度の新規貸出額（借換えを含みます。）は、21兆6,896億円と対前年度比で3.5%増加し、6年連続で20兆円台となりました。

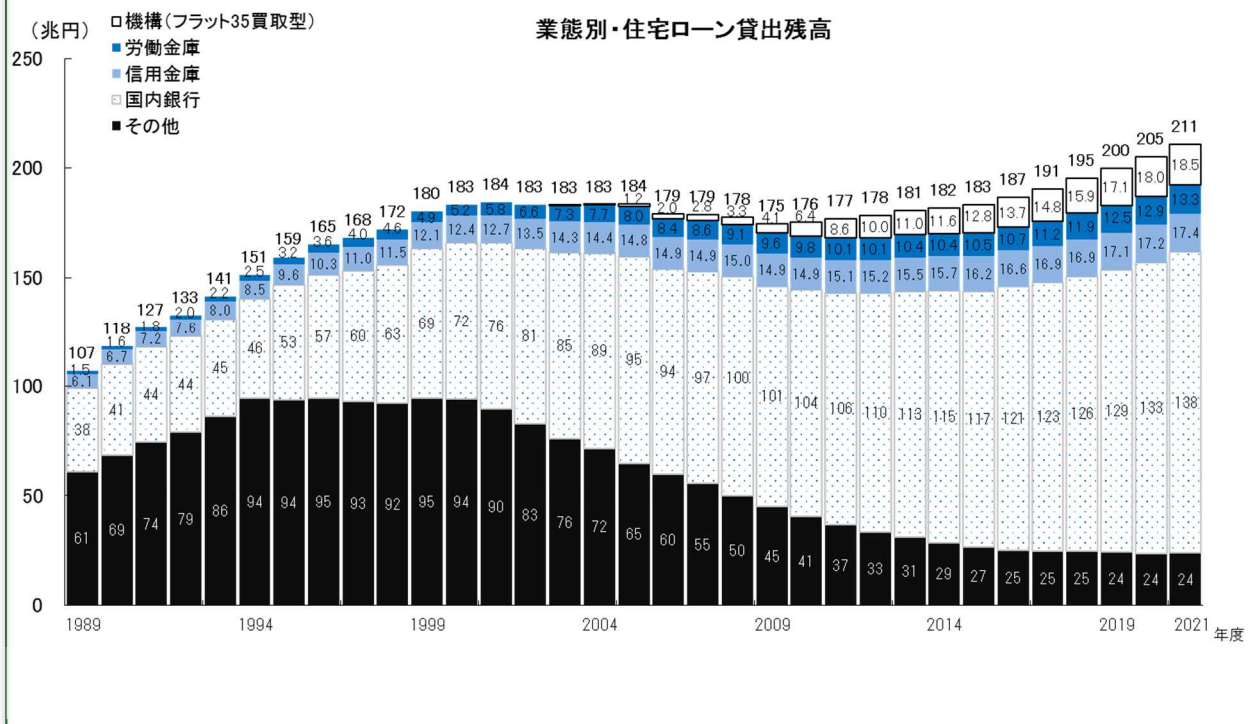
（背景）住宅着工数の増加傾向や中古住宅の需要拡大に加え、住宅価格が上昇したこと等による影響が考えられます。



<住宅ローンの貸出残高>

○ 2010年度以降増加が続いており、2021年度末では前年度比2.8%増の210兆9,221億円となりました。

(背景) 住宅ローン金利について低金利の環境が続いており、2021年度も新規貸出額が20兆円台と安定して推移したこと等による影響が考えられます。



——— 本リリースに関するお問い合わせ先 ———

住宅金融支援機構 経営企画部広報グループ 西村/谷山/永田/泉井/濱野 TEL 03-5800-8019
住宅金融支援機構ホームページ <https://www.jhf.go.jp/>

(参考)

■住宅金融支援機構が実施している住宅ローン関連調査（令和4年度 公表予定）

〈フラット35利用者に係るデータ分析〉

(1) フラット35利用者調査（8月）

フラット35利用者の属性、資金計画、住宅等について集計・分析

〈インターネットを通じたアンケート調査〉

(2) 住宅ローン利用者の実態調査（6月、2月）

住宅ローン利用者の住宅ローン選びに関する意識や行動、住宅ローン利用予定者の住宅取得に関する意識や行動等を調査

(3) 住宅ローン借換えの実態調査（10月）

住宅ローンの借換えを行った方の住宅ローンの金利タイプの変化や借換理由等を調査

〈金融機関へのアンケート調査〉

(4) 住宅ローン貸出動向調査（2月）

民間金融機関の住宅ローンの取組姿勢等を調査

〈データ、統計資料等の集計〉

(5) 業態別住宅ローンの新規貸出・残高（8月）

金融機関、各業界団体等への照会結果、日銀の統計資料等を年度ごとに集計（一部推計）

（なお、四半期ごとの集計結果は、8月、10月、12月、3月に機構ホームページで公表。）

※ 今回公表分を下線で示しています。

※ 調査の公表時期、項目及び内容は、変更する場合があります。詳しくはお問合せください。